

## ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内  
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

### 企画展

## ジュエリーのいろは【は】“流行り”とジュエリー

「ジュエリーのいろは」の最終回となる本展では、「ふだんのわたし」に寄り添うジュエリー約40点を、秋から冬にかけてのファッションとともに紹介します。流行を取り入れたファッションを、より上質に、より自分らしく仕上げるためのジュエリーを、ウィンドーショッピングをするようにご覧ください。

開催期間／～2月13日(月)  
観覧料／無料



ネックレス 制作:(株)光新宝飾



「Happy 7 Colors」  
ペンダント  
制作:(株)工房グリーン



ピアス  
制作:(株)イノウエ

## 県立考古博物館

甲府市下曾根町923  
TEL 055-266-3881  
FAX 055-266-3882

### 企画展 甲斐市の出土品I —敷島の遺跡—

身近にある遺跡や地域の歴史に親しむ企画展。今回は、甲斐市教育委員会がこれまで取り組んできた発掘調査の成果を紹介しながら、甲府盆地北西部地域の歴史について考えます。



軒丸瓦・平瓦(天狗沢瓦窯跡出土)  
山梨県指定文化財

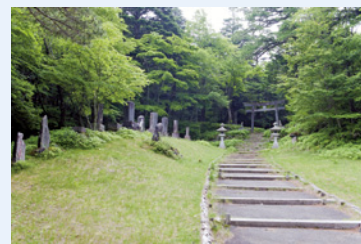
開催期間／～1月29日(日)  
観覧料／無料

## 富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1  
TEL 0555-72-0259  
FAX 0555-72-0211

### 企画展「探訪 富士山巡礼路」

神仏が住むと伝わる世界を目指して、富士山へ参詣に訪れた人々が歩んだ、いにしへの巡礼路。発見された古代の道の展示をはじめ、道を通して見えてくる富士山文化の広がりを紹介します。



吉田口登山道の馬返し

開催期間／1月1日(日)～2月27日(月)  
観覧料／一般420円 大学生210円  
(常設展観覧料でご覧いただけます)

## 県立科学館

甲府市愛宕町358-1  
TEL 055-254-8151  
FAX 055-240-0168

### 第19回 新春科学の夢を描く作品展

県内の小中学生が「科学が進歩するとこんなことができる!」をテーマに描いた、はがきサイズの作品を展示します。科学の未来に向けて子どもたちの視点をご覧ください。



第18回入選作品  
山梨市立加納野小学校 6年 藤原 昂祐

開催期間／2月4日(土)～16日(木) ※多目的ホール  
観覧料／入館料のみ

## 富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字丸尾5597-1  
TEL 0555-72-6206  
FAX 0555-72-6183

### 国際シンポジウム 2016 堆積物から噴火の歴史を読み取る —火山山麓の湖から—

湖沼の底にたまった泥などの堆積物は、風化や浸食などの影響を受けにくいため、噴火の歴史をひもとく鍵になると注目されています。今回は、国内外から研究者を招き最前線の研究を紹介します。



昨年度のシンポジウムの様子

開催日時／1月22日(日)午前10時～午後4時  
開催場所／富士吉田市民会館 小ホール(富士吉田市 緑ヶ丘2-5-23)  
参加料／無料



## 県立美術館

甲府市貢川1-4-27  
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

### コレクション企画展 没後100年 野口小蘋

野口小蘋は、甲府で酒造業を営む「十一屋」へ嫁ぎ、後に近代を代表する女性南画家となりました。2017(平成29)年は没後100年に当たります。本展では、開館以来、山梨県立美術館が収集してきた小蘋の全作品と、えりすぐりの寄託作品を一堂に会します。また、県内の個人コレクション、さらには近年発見された資料を併せて展観しますので、優雅で格調高い小蘋芸術の世界を鑑賞していただけます。

開催期間／1月21日(土)～2月26日(日)  
観覧料／一般510円 大学生210円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



《百福図屏風》明治後期～大正前期(十一屋コレクション)



《美人招涼図》明治20年(山梨県立美術館蔵)

## 県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

### シンボル展 浄土憧憬 一人々があこがれ続けた極楽浄土とのかたち

古来人々は、死後に極楽浄土へ往生することを願い、いつか訪れるその時のために、数々の善行を積むことを心掛けました。人々がいかに切実に往生を望んできたか。それは、現在まで残されてきた数々の浄土図が物語っています。本展では、浄土の様子を描いた当麻曼荼羅図や、浄土の主である阿彌陀如来、人々を浄土へと導く菩薩像などを紹介し、「はるかなる憧れの地」を求め続けた人々に思いをはせていただきます。

開催期間／1月28日(土)～2月27日(月)  
観覧料／一般 510円 大学生210円  
(常設展観覧料でご覧いただけます)  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



当麻曼荼羅図(北杜市蔵)



観音菩薩立像(安楽寺蔵)

## 県立文学館

甲府市貢川1-5-35  
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

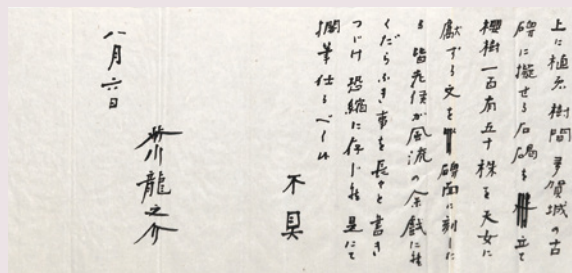
### 新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル 飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・草野心平・太宰治ほか

原稿や手紙など文学者直筆の資料からは、書き手の人となりや、その時々的心情、さまざまな人間関係などを読み取ることができます。また、写真の表情からは、私たちの知らない素顔が見ることがあります。本展では、芥川龍之介の手紙や、文壇バー「みち草」に集った草野心平らの書画などを紹介し、作家の実像に迫ります。平成28年に新たに収蔵した文学資料の魅力をお楽しみいただけます。

開催期間／1月21日(土)～3月20日(月・祝)  
観覧料／無料



竹久夢二ほか「みち草」マッチ箱



芥川龍之介 菅虎雄宛書簡  
1914(大正3)年8月6日(部分)